

説 教

聖日礼拝

北浜チャーチ

2021年11月21日(日)

主 題：「答えのない時代を、どう生きますか？」

—逆転人生—

テキスト：出エジプト6章28～7章7節

はじめに

- ・私たちが生活する今の時代は、AI（人工知能）やデジタル化が驚くべきスピードで進んでいます。そのお陰で利点はいくつもあります。それはAIが、人間の代役をすることができることでしょう。とくに今後は少子化が進み、人手が不足しますから、大変大きな助けとなりましょう。
- ・しかし他方では、この先いったいどうなるのか不安がない訳ではありませんね。人口知能が人間の働きを超えるような事態になるのだろうか？もし、そうなれば仕事がなくなるのではないかという心配もあります。
- ・私たちが生活する今時代は、それに加えて新型コロナウイルス感染症によって、生活様式・価値観は大きく変わってきました。
- ・皆さんは、いかがお考えでしょうか。変化の激しい時代に生きることは、先が見えないだけに大変なことであると思います。それは答えのない時代を、どう生きるかというテーマではないでしょうか。しかし、そのような時代であっても、世界の名著聖書は多角的な視点から私たちに生きるヒントを与えています。今日はそのヒントの1つとなる、ある人について考えてまいりましょう。
- ・私たちには「得て」、「不得手」というものがあります。得意なことは勇気を持ってします。そしてその分野は伸びて成果が出るものです。
 - ・歌を歌うことが得意な人、絵を描くことが得意な人、字をかくことが得意な人等、いろいろな分野において得意な人がいます。
 - ・一方、逆に不得手のことには、つい一歩下がってしまうものです。
 - 歌を歌うのが苦手の人、絵を描くのが苦手の人、字を書くのが苦手の人はいます。ハラハラ、臆病になり……。
 - それが⇒ 不安材料となる（ストレス度アップ）
- ・皆さん！ 私たちの人生にはいろいろなことがあります。自分の力、能力、体力から考えると「自分は不安となり」臆病になってしまいます。どうすれば良いのでしょうか。聖書にも、じつは不安材料を持った人が登



場します。それはイスラエルの指導者モーセという人でした。

- ・モーセという人は紀元前、旧約聖書時代のひとでした。モーセは兄アロンとともに、イスラエルの民をエジプトから率いて約束の地カナンへ導くことを神から命じられました。なぜなら、イスラエル人はエジプトで奴隷の身であったからです。神は彼らを奴隷の身から解放し、祝福の国「乳と蜜の流れる地」(カナン) へ導こうとされました。
- ・その時、モーセはすでに80歳という年齢なっていました。彼の生涯は120歳まで生きましたから、彼の生涯の最後の三分の一、40年が始まる時でありました。その時でした。イスラエル民族史上最大と言われる、出エジプト大作戦が行われようとしていました。偉大な指導者と呼ばれたモーセのはじまり、それはどのようなものであったのでしょうか。3点

大切なポイント

1. モーセのはじまりには人間的弱さがあった

7:7 彼らがファラオに語ったとき、モーセは八十歳、アロンは八十三歳であった。 出エジプト

- ・モーセの年齢は、すでに80歳……。健康上の問題は大きかったに違いありません。気力、体力は若いときとは違います。奴隷の立場であったイスラエルの民を、当時の世界的支配者ファラオから解放させ、約束の地カナンへ導くことは、普通考えて無理であったに違いありません。
- ・皆さん！ここに聖書が教えるパラドックス（逆説）的思考があります。一般的に、事を始める際は能力、体力、気力が必須事項であります。しかし、神の計画は不思議で、弱さの中でスタートしました。
- ・もし私たちがモーセの立場に置くことが許されるならば、どうでしょうか。人間的弱さがあっても、創造神にとっては問題ありません。すなわち、神はモーセの生涯に一つの目標をお持ちでした。神にとっては、ですから年齢は第一の問題ではありません。
- ・神は私たちの生涯にも計画をお持ちです。その計画は、ある意味で使命と考えることができるかも知れません。ひとが使命に立って生きるならば、それは年齢を忘れさせるものがあります。

『例 話』

聖路加病院、名誉院長であったクリスチャン Dr. 日野原は、90歳を超えても最高齢の医師として活躍されました。そして素晴らしい生涯を終えられたことは、多数の日本国民は知っています。

- ・モーセは神からのおことばをいただいた時は、80歳でした。人間的に弱さが出る年代でした。しかし、その時はモーセが指導者として立つ始まりでした。彼の年齢はマイナス要因ではありませんでした。

2. モーセのハンデイーは口べたであった

6:30 しかし、モーセは【主】の前で言った。「ご覧ください。私は口べたです。どうしてファラオが私の言うことを聞くのでしょうか。」出エジプト

- ・当時の世界的指導者の前で、どうして語るができるのでしょうか？
ここにも逆説的真理があります。
すなわち ⇒ 人間的能力は、神にあって問題ではない
- ・モーセはある意味で正直であったと思います。しかし、彼は自分の内側を見ていたのではないのでしょうか？ 出エジプトせよという命令は、神から来たものでした。天地を造られた神が命じられたということは、その背後に神が臨在くださっているということです。
- ・聖書の神は無責任に、ことばを与える方ではありません。神が一度語られたことばは、決して消えることはありません。聖書は神の語られることばを次のように述べています。

イザヤ40章

40:8 草はしおれ、花は散る。しかし、私たちの神のことばは永遠に立つ。」
また、次のようにも述べています。

マタイの福音書5章

5:18 まことに、あなたがたに言います。天地が消え去るまで、律法の一点一画も決して消え去ることはありません。すべてが実現します。

- ・聖書は天地をお造りくださった創造神がお語りくださった書物です。ですから聖書は時代を超えて、民族を超えて、文化を越えて世界中の人々に届く「グット・ニュース」(福音)です。ここに素晴らしい祝福が秘められているのです。
- ・神のことばにはそのような権威があるにも関わらず、モーセは内側を向いていました。すると彼に見えたのは、彼の弱点であった口べたというものでした。ここで大切なことは、自分を見つめることは大切なことですが、それよりももっと権威ある神のことばをに耳を傾けるべきであった、ということです。

3. 決定的なポイントはどこに？

6:29 【主】はモーセに告げられた。「わたしは【主】である。わたしがあなた

に語ることをみな、エジプトの王ファラオに告げよ。」

- ・つまり、自分の内側を見るのではなく、天地を造られた創造神を見なさい！ということ。モーセは神からおことばをいただきました。それは言い換えれば、神が責任をお取りくださるということです。
- ・皆さん！ あなたの人生はいかがでしょう？ あなたは知識、経験、実績をお持ちであるでしょう。それは素晴らしいことです。自分のそのような力で、乗り越えられると考えておられるかも知れません。
- ・また、逆に生きる力を失っているかも知れません。そして疲れ、失望し、落胆しているかも知れません。まさしく現代は、先がまったく見えない難しい時代となってきました。しかし、それでも大丈夫です。
- ・皆さん！！ どうぞ、自分の弱い内側だけを見ないでください。この後に続くモーセは、神の約束どおりに出エジプトに成功しました。エジプトの王ファラオは、10回にわたりイスラエルの民の出エジプトを阻止しようとしたが、すべて失敗となりました。王ファラオはモーセの率いるイスラエルの民が、エジプトを出ることを許さざるを得なくなりました。神がともにいてくださったからでした。
- ・神にあってマイナス要因は問題ではありません。では、何が大切でしょうか？ それは神のことばを信頼するかどうかです。神のことばには、人を助け、人を救う力を持っています。

{例話} Fanny Crosby の証し

- ・盲目の詩人ファニー・クロスビーは、米国キリスト教界のクイーン（女王）と呼ばれました。クロスビーは、1820年3月、ニューヨーク州のアトナムに生まれました。ところが、彼女は生後6週目に家人の不注意から、両眼に温湿布をかけたことがもとで失明してしまいました。
- ・そこで、彼女はNY市立盲人学校で学ぶことになりました。卒業後、その教師となりました。その後1858年、同僚のAlexander Van Alsteine氏と結婚しました。
- ・彼女は盲目の詩人として、またクリスチャン詩人として多くの作品を残しました。聖歌495番「イエスのみうでに」(Safe in the Arm of Jesus) はじめ世界中の人々に、素晴らしい讃美歌を残しました。
- ・彼女は95歳の天寿を全うするまで、その才筆は衰えを見せませんでした。

クロスビーはわずか8歳の時に、「たとえ目は見えないけれども、ほかの人の

知らないこんなに多くの祝福を、私だけで一人じめにしてよいのだろうか」

と言いました。

- ・彼女の詩に表われたその信仰態度は、その生涯を貫いて示されました。また

彼女自身が盲目であったため、更に深く神意をみることができたことは、彼

女自身の告白によってもはっきりと知ることができます。彼女は、次のよう

に告白しています。

「私は、結局、私が盲目であったことをどんなにか感謝しています。もし、私が盲人でなかったなら、どうして私が今まで過ごしてきたような価値ある生涯を送られたでしょう。私は本当に満足しています」

- ・神は、目が不自由であったファニー・クロスビーを用いられました。
皆さん！ 彼女には弱さがありましたが、弱さが問題ではありませんでした。彼女は生ける真の神を信じ、神から与えられた賜物を大いに用いた器でした。
- ・いかがでしょうか？ 私たちは先が全く見えない時代に生きる者です。将来に不安を覚える人は少なくありません。人生を真面目に考えるならば、光が見えないからです。イエス・キリストは「私は世界の光です」と言われました。イエスの光は私たちの心を照らし、見えないところが見えるように、光を照らし先導してください。
- ・聖書：「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」(マタイ 11:28)
あなたも今日イエス・キリストのもとに来られませんか。人生に疲れてはおられませんか。あるいは自分が負っている荷は重すぎると、思っている方はおられませんか。大丈夫です。イエス・キリストはあなた疲れと重荷を、すべて負ってください。
- ・なぜならイエス・キリストは十字架にかかり、そして三日目に死から復活されたお方です。イエスは十字架の上で、私たちの重荷をすべて背負ってくださいました。そして死を打ち破り、復活された救い主であります。

ローマ人への手紙 10章

10:11 「この方（イエス・キリスト）に信頼する者は、だれも失望させられることはない。」

ま と め

主 題：「答えのない時代を、どう生きますか？」

—逆転人生—

- ・今朝、神は私たちを招いてくださっています。今の時代は先が見えない不安定な時代となりました。しかし創造神は、私たち一人ひとりを愛してくださっています。そして私たちを愛し、人生を祝福したいと願っておられます。
- ・あなたも世界を造られた真の神のもとに、今日来られませんか？
「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」(マタイ 11:28)

* God bless you !